大阪音楽大学
教育職員免許法施行規則第 22 条の 6 に関する情報

目次

○教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること。
【第 22 条の 6 第 1 号関係】
・本学の教員養成に対する理念・構想について…2 ページ

○教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること。
【第 22 条の 6 第 2 号関係】
・組織図…3 ページ
・教職課程教員一覧…4～7 ページ

○教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること。
【第 22 条の 6 第 3 号関係】
・教職に関する科目一覧…8 ページ
・シラバス…9 ページ

○卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること。
【第 22 条の 6 第 4 号関係】
○卒業者の教員への就職の状況に関すること。
【第 22 条の 6 第 5 号関係】
・卒業者の教員免許取得状況及び教員就職状況（5 年）…9 ページ

○教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること。
【第 22 条の 6 第 6 号関係】
・教職支援室の取り組み…9 ページ

○教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること。

・本学の教員養成に対する理念・構想について

本学の教職課程では、建学の精神に基づき私立大学として個性的な教育・研究活動を展開しながら、開放制教員養成の考え方にしたがって「幅広い教養と社会的視野の広さとともに、高度な音楽的能力を身に付けた、学校・地域における音楽文化の発信者たりうる人間的魅力に満ちた教員の育成」を教職課程の理念としています。その理念を具体化するために、音楽学部の専門教育による深く高度な音楽的能力と創造性の育成を前提に、教職課程においては教員の資質として必要な次の 3 つの力を培うことを目標としています。

1.演奏会、発表会その他のさまざまな自主活動や社会体験を通じて他者との共感能力、協働性、責任感、企画力や実行力を培うこと。

2.教育諸学の最先端の成果や理論を教育現場での具体的実践につなげ、高い教職専門性に裏打ちされた指導力を培うこと。

3.生涯を通じて音楽と人間・社会について児童・生徒、同僚、地域社会と学びあえる豊かな人間力を培うこと。

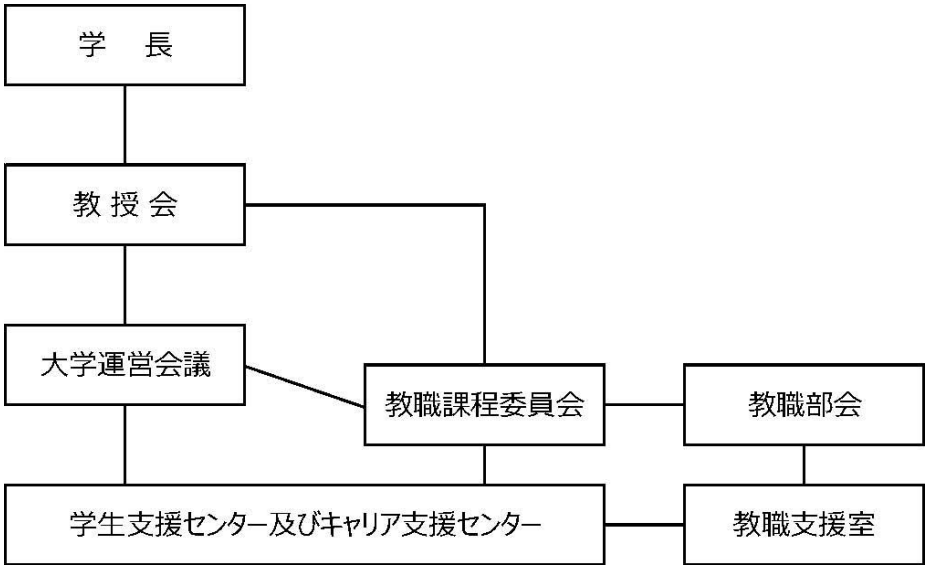
本学が養成する教員の専門分野である音楽科については、しばしば誤解されているような単なる情操教育に留まるものではなく、人類の知的財産の理解と継承により、生涯を通じて芸術文化の理解者、さらには発信者となるための基礎を身につける教科であると考えています。

また、その基礎を身につけるためには、音楽の持つ歴史的・文化的背景、他の芸術領域との関連など、さまざまな知的理解と思考力が求められることに加え、芸術的な表現活動を行うために言語活動とともに身体的表現も必要です。さらに、他教科への理解や協働の可能性を広げ推進する「つなげる力」が今後ますます重要な資質となります。

音楽の持つ高度な教育的感化力と学習課題としての総合的な性格に関する上記の認識に立てば、学校における音楽科教員の教科指導における使命は、音楽の深い理解に基づき、その教育上の可能性を最大限に引き出すことであるといえます。

○教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること

・組織図



・教職課程教員一覧（16 名）

吉村治広　教授

学位及び業績　https://www.daion.ac.jp/professor/yoshimura_haruhiro/

担当科目

教育実習の指導
音楽科指導法Ⅰ
音楽科指導法Ⅱ
音楽科指導法Ⅲ
音楽科教育法（創作）
総合的な学習の時間の指導法
教職実践演習（中・高）

大野僚　准教授

学位及び業績　https://www.daion.ac.jp/professor/445/

担当科目

教育学概論 A
教職入門
道徳教育指導論
教育課程論
教育実習の指導
教育実習 A
教育実習 B
教職実践演習（中・高）

長谷川真由　准教授

学位及び業績　https://www.daion.ac.jp/professor/476/

担当科目

教育実習の指導
音楽科指導法Ⅰ
音楽科教育法（リコーダー）
教職入門
音楽科指導法Ⅱ
教職実践演習（中・高）
教育方法論（ICT 活用含む）

園田葉子　講師（大阪音楽大学短期大学部　教授）

学位及び業績　https://www.daion.ac.jp/professor/442/

担当科目

特別活動の指導法

特別支援教育概論

音楽科指導法Ⅰ

教職入門

教職実践演習（中・高）

音楽科指導法Ⅱ

藤本敦夫　講師（大阪音楽大学短期大学部　教授）

学位及び業績　https://www.daion.ac.jp/professor/444/

担当科目

教育学特論

教育と人権

平山るみ　講師（大阪音楽大学短期大学部　准教授）

学位及び業績　https://www.daion.ac.jp/professor/446/

担当科目

教育実習の指導

教育心理学

教職入門

教育方法論（ICT 活用含む）

教職実践演習（中・高）

尾場友和　講師

学位及び業績　https://www.daion.ac.jp/professor/478/

担当科目

教育学概論 B

串崎真志　講師

学位及び業績　https://www.daion.ac.jp/professor/448/

担当科目

生徒指導と教育相談

教育実習の指導

岡村季光　講師

学位及び業績　https://www.daion.ac.jp/professor/okamuratoshimitsu/

担当科目

青年心理学

山内国嗣　講師

学位及び業績　https://www.daion.ac.jp/professor/yamauchikunitsugu/

担当科目

進路指導・キャリア教育

川合宏之　講師

学位及び業績　https://www.daion.ac.jp/professor/kawai_hiroyuki/

担当科目

生徒指導と教育相談

尾川満宏　講師

学位及び業績　https://www.daion.ac.jp/professor/ogawa_mitsuhiro/

担当科目

教育学概論Ｂ

瀧本一夫　講師

学位及び業績　https://www.daion.ac.jp/professor/takimoto_kazuo/

担当科目

特別支援教育概論

中元正文　講師

学位及び業績　https://www.daion.ac.jp/professor/nakamotomasafumi/

担当科目

教職実践演習（中・高）

村田佳生　講師

学位及び業績　https://www.daion.ac.jp/professor/452/

担当科目

音楽科教育法（リコーダー）

油井宏隆　講師

学位及び業績　https://www.daion.ac.jp/professor/yui_hirotaka/

担当科目

音楽科教育法（合唱）

○教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること。

・教職に関する科目一覧（学則第 33 条別表第Ⅱ）

第一欄	免許法施行規則に定める科目区分等		左項に対応する開設授業科目										備考
	教科及び教職に関する科目	各科目に含める必要事項	授業科目		1年		2年		3年		4年		最低修得単位数	
					1	2	3	4	5	6	7	8		
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	各教科に関する専門的事項	【A表】のとおり（専攻によって科目と最低修得単位数は異なります）											
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む）	音楽科指導法Ⅰ	講義					2				4	
			音楽科指導法Ⅱ	講義						2				
			音楽科指導法Ⅲ	演習							1			
			音楽科教育法（合唱）	講義				2					4	「音楽科教育法」の3科目中いずれか2科目4単位必修
			音楽科教育法（鑑賞）	講義					2					
			音楽科教育法（創作）	講義						2				
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む）	教職入門	講義		2							12	
		教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論A ※1	講義			2							
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む）	教育学概論B ※1	講義				2						
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学 ※1	講義			2							
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	講義					2					
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む）	教育課程論	講義				2						
第四欄	道徳、総合的な時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育指導論	講義					2				10	
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	講義						1				
		特別活動の指導法	特別活動の指導法	講義							1			
		教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論（ICT活用含む）	講義				2						
		生徒指導の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法	生徒指導と教育相談	講義						2				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導・キャリア教育	講義							2			
第五欄	教育実践に関する科目		教育実習の指導	講義							1		7	事前事後指導含む。 2週間実習の場合はAのみ。
			教育実習A ※2	実習							2			
			教育実習B ※2	実習							2			
			教職実践演習（中・高）	演習								2		
第六欄	大学が独自に設定する科目		教育学特論	講義					2					
			教育と人権	講義					2					
			青年心理学	講義						2				
＜単位数＞	・ 必修科目（選択必修科目の単位数を含む）		37単位											
	・ 選択科目		9単位											

※1 これらの科目は卒業要件単位に算入することも可能です。それ以外の科目は算入できません。

※2 高免のみは「教育実習Ａ」（実習期間 2 週間）、中免・高免取得の場合は「教育実習Ａ」・

「教育実習Ｂ」（実習期間 3 週間）を履修してください。ただし、教員採用試験において、中免・高免併有が出願資格となる場合もあるので、3 週間の実習を推奨します。

・シラバス（以下のページより確認してください）
https://portal.daion.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp

○卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること
○卒業者の教員への就職の状況に関すること。
・卒業者の教員免許状取得状況及び教員就職状況（過去5年間）

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
中一種免（音楽）取得者数	73	64	68	50	64
高一種免（音楽）取得者数	75	65	73	50	65
学校教員就職者数（正規）	4	1	5	4	4
学校教員就職者数（正規以外）	19	10	10	16	17

○教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること。
・教職支援室の取り組み
教職支援室では本学の卒業生がピアサポーターとして学生の教職課程履修に関する個別相談に応じる他、各種の講座、教員採用試験対策の勉強会等を実施し、教職への道をサポートしています。
最新情報は以下のページで確認することができます。
http://blog.livedoor.jp/daion_202/